



●あたらしい色彩講座 前半のご案内

日本色彩学会 教育普及委員会で、2023年7月から「あたらしい色彩」の講座（全6回）がスタートしており、前3回を紹介します。

◆第1回：7月29日（土）13:30-15:30
「色彩を活用した地域ブランディングと社会貢献」

登壇者：牧野暁世氏（東海学園大学心理学部）、村上加奈子氏（鹿児島大学イノベーションセンター） オンライン開催。

◆第2回・8月27日（日）13:30-15:00
「メンズコレクションー見方と生かし方 そして2024年最新トレンドー」

登壇者：日置千弓氏（ファッション・ジャーナリスト） オンライン開催。

◆第3回・10月20日（金）17:00 -18:30
（20時まで開館）会場：国立新美術館（六本木）（ハイフレックス配信）

テーマ：サンローラン展との連動企画
「イヴ・サンローランの色彩」

講演会・展覧会見学会コーディネーター：室屋泰三氏（国立新美術館）

登壇者：小野寺奈津氏（国立新美術館）

【受講料】（各回）日本色彩学会員 2,000円・非会員 3,500円

（学会メールニュース No.419 から引用）

●東海支部主催・検定サポート講座

東海支部の主催で、「東京商工会議所主催 カラーコーディネーター検定スタンダードクラスのサポート講座（全4回）」が開催され参加費は日本色彩学会員が7,500円です。

講座は受験に向けてオンラインにより、全4回で開催されるもので、公式テキストに基づいて「スタンダードクラス」の内容が分かりやすく解説されます。

■開催日時とテーマ

◆第1回 8月19日（土）10時～12時
「色を自在に操る方法」

◆第2回 9月2日（土）10時～12時
「きれいな配色を作る」

◆第3回 9月16日（土）10時～12時
「背景色を上手に使って色の見えを変えてみよう、色で売り上げをアップするために」

◆第4回 9月23日（土）10時～12時
「色を美しく見せる光のマジック」

■参加方法：オンライン（Zoom）

参加者はカラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキストを用意。

■申込みフォーム：

<https://forms.gle/qw431fUfd8PKsKdh6>

◆申込締切：8月10日（木）17時

（学会メールニュース No.422 から引用）

●大辞泉ひろいよみ 28 ーう・え

上染め：うわぞめ。先に染めた色の上に、さらに他の染料で染めること。上掛け。

縷縷・暈縷：うんげん。同じ色を濃から淡へ、淡から濃へと層をなすように繰り返す彩色法。中国西域から伝わり、主に宝相華などの文様を表す。赤・青・緑・紫などの色を用い、奈良、平安時代の仏画、寺院の装飾や染織などに用いられた。縷縷彩色。

縷縷錦：縷縷による彩色の間に、花・鳥・菱などの文様を配置した錦。畳・蓆などの敷物のへり、表具の装飾に用いる。

雲彩：中国、清代の乾隆年間に焼かれた磁器の模様。また、その磁器。五色の釉が雲のように入り乱れたもの。

暈色：うんしょく。鉢物の表面または内部に見られる虹のような色。

絵・画：物事や情景を、色・線・形などによって、平面上に写し表したものの。絵画。ある情趣を感じさせるありさま。光景。

英雄色を好む：英雄といわれる人は、全てに精力的であるために女色を好む傾向も強い。

絵漆：えうるし。蒔絵に用いる漆。

絵書き・絵描き：絵をかくことを職業とする人。画家。絵をかくこと。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

（永田泰弘）